

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 産業建設分科会		会議場所 第2委員会室 担当職員 三宅
日 時	平成26年8月18日(月曜日)	開 議	午前 11 時 40 分
		閉 議	午後 0 時 10 分
出席委員	齊藤 中澤 福井 馬場 小島 菱田 日高 湊		
出席理事者			
出席事務局	三宅主任		
傍聴者	市民 名	報道関係者 名	議員 名

## 会 議 の 概 要

11:40

### 1 開議

### 2 事務事業評価対象事業の選定

< 齊藤委員長 >

前回に引き続き、事業選定の協議を行う。各委員より抽出した事業項目を報告願う。

< 馬場委員 >

・鳥獣対策事業費。

過去にも事務事業評価を行ったが、獣害被害が後を絶たない状況であり、その推移がどうなっているのか検証すべきである。また、南丹市美山町では獣害対策で捕獲した鹿肉を使った店も増えており、その角度からも考えていきたい。

・雑水川改修状況。

先般の豪雨災害の状況から、改修の進捗状況を検証したい。

< 菱田委員 >

雑水川は京都府事業であり、市が直接実施するものではない。

< 馬場委員 >

南郷公園の維持管理が弱体化しているのではないかと意見もあることから、その絡みでどうかと考えている。

< 福井委員 >

・大河ドラマ誘致活動事業経費。

前年度予算同額の継続事業であるが、誘致が中々できないので、見直すべきではと考えている。

・排水路新設改良事業費。

集中豪雨により排水が追いつかない状況について、水路に限ったものではないが、考えていきたい。

< 菱田委員 >

・合併浄化槽設置事業。

予算に対して実績が伴っていない。25年度当初予算において指摘要望しているので、本決算で取り上げるべきである。

< 事務局 >

衛生費の環境厚生所管事項であり、本分科会で取り上げることはできない。

< 日高委員 >

- ・ 観光推進経費の城下町町家にぎわい創出観光拠点運営事業。  
効果がないように思い、見直すべきと考えている。周りに何も無いのにそこだけ改修整備しても、にぎわいが創出されるものではない。
- ・ 土木費の景観形成事業。  
景観計画の策定は、電線類地中化の前提となるものであり、強調すべきである。また、業務委託に頼っているが、それが地元の考えと乖離し、反発されているのではないかと感じている。

< 中澤副委員長 >

- ・ 農業担い手づくり育成事業  
過去にも事務事業評価を行ってきたが、それだけに大きな課題であり、多くの施策が図られているが、それらを検証していくべきと考えている。
- ・ 商工業振興対策事業。  
繰り返すとなるが、商店街を含め、経常的に検証していくべきと考えている。

< 湊委員 >

各委員から報告のあった事業のうちから絞り込みをしてはどうか。事業の選定に当たっては、今後も継続が必要な事業か、方向性を変えるべき事業か、結論を見越した上で選定すべきである。

< 齊藤委員長 >

目的としては、事業の問題点を明らかにして次年度予算への反映をめざすところであり、その観点で充実した審査につなげたい。大河ドラマ誘致に関しては、現在の放映を踏まえ、今後の展開について議論したいと考えているが、決算とは別の機会に設けたいと考えている。また、景観形成事業に係るコンサル委託は、当該事業に限ったものではなく、別の場で精査したいと考えている。

< 福井委員 >

上下水道事業においても、水道使用量が減少している中、決算で取り上げて議論すべきと考えている。

< 齊藤委員長 >

上下水道事業についても議論すべきと考えているが、今回の選定においては、何項目とするか。

< 湊委員 >

3項目とされたい。

< 齊藤委員長 >

それでは、以下の項目を選定することでどうか。

- ・ 観光推進事業（城下町町家を活かしたにぎわい創出観光拠点運営事業補助金）
- ・ 鳥獣対策事業
- ・ 排水路新設改良事業

< 湊委員 >

城下町町家関係は、どのような結論を想定して選定するのか。

< 菱田委員 >

評価の仕方が難しい。景観サイドとなると視点を変えなければならない。

< 日高委員 >

にぎわいの創出につながっているのかを検証すべきと考えている。本当ににぎわいの創出をめざすなら見直さなければならない。

< 齊藤委員長 >

それでは、その3項目で事務事業評価を行うこととし、その論点を整理していきたいと考えているが、時間の都合上、本日はここまでとし、次回、予定日の29日の午後1時30分から開催し、論点整理を行うこととする。〈了〉

~ 散会 12:10